

浜通り復興リビングラボ【令和8年度マッチング結果】(R8.9.30時点)



	社名	実証事業名（仮）	実施自治体
1	コドモエナジー株式会社	蓄光プレートによる、夜間歩行環境の改善 ～夜の道に、安心という光を～ 高輝度蓄光プレートを照明が不足している危険個所や歩行経路に設置することで、夜間歩行時の転倒やつまずき事故等のリスクの低減が期待できる。無電力で発光するため、電源の確保や配線工事が不要で、街路灯の設置が困難な場所にも設置可能である。夜間歩行環境の改善を図り、事故リスクの低減や住民の安心感向上により住民の安全・安心を目指す。	檜葉町 富岡町 川内村 大熊町
2	株式会社情報システムエンジニアリング（ISE） 株式会社シグマ ニューロンネットワーク株式会社 大阪大学	住民の健康向上に向けた次世代コンディショニング 住民等を対象に、医療要素を含むフィットネス、営農クラフト、動物とのふれあいによる心身のデータを把握・解析し、その結果をもとに一人ひとりに合ったアドバイスを行う次世代コンディショニングの新たな仕組みで、行動変容と健康向上につなげる取り組みを実証する。この活動をとおして、地域のコミュニティ活動の発展・継続や、交流人口の拡大への貢献も目指す。	檜葉町
3	NTCインターナショナル株式会社	水門用簡易開閉装置導入の可能性検討 農業水利施設の維持管理にあたって担い手不足が課題であり、日々の用水管理の効率化を図るため、取水ゲートの電動化・遠隔操作により、少人数による広域の用水管理の実現可能性を検証し、担い手不足の解決策としての有効性を確かめる。あわせて水路等の維持管理の現況も調査し、課題と解決策を提示する。	飯舘村
4	むげんのそら株式会社	ドローンによる橋梁点検の省力化・効率化 5年に1度の道路の橋梁点検において、人員・予算の制約下でいかに「手軽で持続可能な点検プロセス」を確立するかが課題である。ドローン写真から直接ひびわれを自動検出するAI解析技術を用いて、橋梁の「一次スクリーニング（健全性の仕分け）」の省力化・効率化を目指す。	南相馬市

浜通り復興リビングラボ【令和8年度 実証事業】（R8.9.30時点）

令和8年度は10市町村にて11民間企業等による8実証事業を実施

R7年度開始事業

【いわき市、川俣町、浪江町×マスヒロ】
電動モビリティの二次交通としての有効性検証

【いわき市×ローテックメディカルジャパン】
ポータブルエコーとエクササイズを組み合わせた
フレイル予防プログラムの開発

【いわき市、田村市、檜葉町、川内村、大熊町、
浪江町×コドモエナジー】
電源を必要としない蓄光プレートを使った
獣害対策の支援

【浪江町×フジタ、ふたば】
ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での
森林・林道管理の効率化

R8年度開始事業

【檜葉町、富岡町、川内村、大熊町×コドモエナジー】
蓄光プレートによる、夜間歩行環境の改善 ～夜の道に、安心と
いう光を～

【檜葉町×情報システムエンジニアリング（ISE）、
シグマ、ニューロンネットワーク、大阪大学】
住民の健康向上に向けた次世代コンディショニング

【飯舘村× NTCインターナショナル】
水門用簡易開閉装置導入の可能性検討

【南相馬市× むげんのそら】
ドローンによる橋梁点検の省力化・効率化



令和8年度実証事業実施市町村
過年度実証事業実施市町村